

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 7 月 8 日

事業名称		男女共同参画推進事業費 [男女共同参画推進事業]									
予算科目	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 14	女性施策費	事業番号	1			
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	地域振興課					消費・共同参画係	係	課長名	石川 正恵		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	5 - 1			
【施策名】 人権尊重・男女共同参画社会の確立							総合計画書 (ページ)	105			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	市民				①人口 → ②市職員数(4月1日現在)						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
	女性と男性が共にその個性や能力を生かし、あらゆる分野に参画できる社会への意識を高める。				①参画週間・推進月間入場者数 ②川柳応募者数 → ③講座参加者数						
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
	①男女共同参画週間・東大和市男女共同参画推進月間の取組 ②男女共同参画川柳の募集 ③男女共同参画情報誌「はーもにい」の発行 ④男女共同参画講座の開催 ⑤職員向け情報提供「男女共同参画のススメ」				①参画週間催し物・フェスタの開催回数 ②川柳に係るチラシ配布数・ポスター掲示数 ③情報誌の発行部数 → ④講座の開催回数 ⑤情報提供数						
	単位		過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
			平成29年度実績		平成30年度実績		平成31年度実績		令和2年度目標		令和3年度目標
3 経費	対象指標	①の数値	人	①85,857 ②476	①85,698 ②476	①85,337 ②471					
	成果指標	②の数値	人	①100 ②315 ③90	①100 ②159 ③61	①68 ②203 ③54					
	目標	②の目標値	人	①150②200③100		①250②315③120	①260②315③74		①260②315③84		
	目標値設定の考え方 男女共同参画に関し実施する各事業において、定員を満たす参加者として設定										
4 環境変化等	活動指標	③の数値	回/枚	①2②3,988、 54③32,000④ 4⑤3	①2②4,852、 55③32,000④ 4⑤2	①2②6,293、74③ 32,000④4⑤13					
	事業費(実績)		円	3,234,270	3,144,550	5,706,101	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	3,234,270	3,144,550	5,706,101					
		特定財源	円	0	0	0					
	人件費(目安)	(うち受益者負担)	円	0	0	0					
		所要人数(再任用以外)	人	0.8	0.8	0.8					
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0					
		職員人件費(再任用以外)	円	6,602,400	6,595,200	6,648,000					
職員人件費(再任用)	円	0	0	0							
事業費+人件費		円	9,836,670	9,739,750	12,354,101						
(1) 開始年度		56 年度									
(2) 環境の変化		昭和56年に女性問題施策に関連する庁内連絡会議が設置され、「東大和市婦人行動計画」策定に向けた検討を開始したのが始まりである。近年は、共働きも増えたことから職場での女性登用など男女平等は比較的進んでいる。しかし、家庭においてはまだまだ介護や育児、家事は女性の仕事であるという意識がある。平成27年9月に施行された「女性活躍推進法」により女性管理職の登用や出産後も働き続けるための環境づくり等の取組について進めていく必要がある。									

事業名称	男女共同参画推進事業費 [男女共同参画推進事業]			
担当部署・課長名	地域振興課	課	消費・共同参画係	係 課長名 石川 正憲

5
市民等の意見

この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について

公募市民等で構成されている男女共同参画推進審議会において、庁内関係機関との連携した取組の推進、ワーク・ライフ・バランスの市民・事業主の方への認知度を上げていくこと、男女共同参画社会の実現を目指すためにも専任の部署（係）及び拠点となる施設の設置について、中長期的な計画の中で具体化していくことが求められている。

6
市民協働

(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）

☒ 取り組んだ
☐ 取り組まない

取組手法：③、⑥、⑧
【取組手法の種類】
①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成
⑥情報提供・情報交換（広報媒体：情報誌）⑦後援・場の提供 ⑧その他（講座講師依頼）

(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点

男女共同参画情報誌編集委員について、開始を早め4月15日から2か月間募集を行ったが、結果として、応募がなかったため更に2か月延長した。この延長で1人の応募があり協働で作成し発行することができたが、長期的な視点でみた場合、市民協働のあり方を考えなければならない。

7
課題

(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）

「男女共同参画」の捉え方が世代によって大きく異なってきた中、メインテーマを「男女共同参画」とする取組で市民の意識啓発を進めていくことが難しくなっている。普段の生活や仕事の中で感じることや課題、市の他部署が別の目的で実施している事業が実は「男女共同参画」に大きく関わっていることを推進計画（改訂版）の取組を通じ、関係各課と連携し、引き続きPRしていく必要がある。

(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。

現行計画の第二次東大和市男女共同参画推進計画（改訂版）が令和2年度で終了し、新たな計画が令和3年度から開始となる。計画を策定するにあたり、市民を対象に「市民意識調査」を実施した。

(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）

令和3年度からの男女共同参画推進計画策定にあたり、市民意識調査を基礎資料として現状分析を行い、現行計画である第二次東大和市男女共同参画推進計画（改訂版）の課題の整理を行う。

8

施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）

施策名： 人権尊重・男女共同参画社会の確立

☒ なっている
☐ 環境の変化等により成果が減少している
☒ 類似の事業が他にあり改善の余地がある(事業名：)

9
今後の方向性

(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）

☐ 拡大
☒ 現状維持
☐ 縮小
☐ 休止
☐ 廃止

【取組内容】

市民意識調査での課題や現行計画の第二次東大和市男女共同参画推進計画（改訂版）における施策の総括を行い、課題を把握し、第三次東大和市男女共同参画推進計画を策定する。

(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等

男女共同参画の推進は、市、市民、事業者が一体となって取り組むものである。そのため、現行計画や事業が抱える課題に対応するため、市民と事業者を含む審議会、庁内で組織された策定本部及び策定部会で議論を重ね、第三次男女共同参画推進計画を策定する。また、新計画が効果的に運用できるよう、進捗管理を含めた令和3年度以降の事業のあり方についても検討する。

<お願い>

このシートは、行政管理課でPDF形式で保存し、市のホームページに掲載しますので、以下の点について、お願いいたします。

- このファイル1つに、1つの「仕事の内容」をご記入ください。
- ファイル名は「仕事の内容」と同様とし、課名等はいれなくてください。
- 保存の際は、Excel97-2003の形式で、保存してください。
- 印刷範囲の設定をしてありますので、解除や変更をしないでください。
- 行の挿入や、行の高さなどは、適宜していただいてもかまいませんが、その際、印刷プレビューで確認し、2ページに収まるように調整してく

こちらの列は、その年の利用状況など実績を表にしておくと、事業を振り返るときに便利です。

